

久慈市埋藏文化財調査報告書 第15集

# 久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅳ

1993. 3

岩手県久慈市教育委員会

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第15集

# 久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅳ

1993. 3

岩手県久慈市教育委員会

## 序

先人の築いた文化遺産は、その地方の歴史を解明するうえで貴重なものです。

遺跡など、地中に埋蔵されている文化遺産は埋蔵文化財と総称されます。

近年、各種開発による土木工事等に伴い、埋蔵文化財の発掘調査が増加しています。

そのため、遺跡の分布状況、内容等を把握し、遺跡台帳を整え、開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るため、市内詳細分布調査を4年次計画で実施することとしました。

平成4年度は4年次計画の4年目にあたり、宇部町地区を主な対象として調査を実施しました。

本書はその成果をまとめたものであり、今後、埋蔵文化財保護を進めるうえでの一助となれば幸いです。

平成5年3月

久慈市教育委員会

教育長 長 内 俊 雄

## 例 言

- 1 本書は、平成4年文化財保護事業として国庫及び県費補助を受けて久慈市教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2 調査は久慈市教育委員会が主体となり実施した。
- 3 調査体制は次のとおりである。

事務局 社会教育課長 米内 幹雄  
郷土文化係長 大湊 清信  
文化財調査員 千葉 啓蔵  
調査員 千葉 啓蔵  
屋外作業員 神田 喜美栄 西川 ヨシ  
屋内作業員 神田 喜美栄 西川 ヨシ
- 4 石質鑑定は新田康夫氏に依頼した。
- 5 本書の編集、原稿執筆、図版作成、写真撮影等は千葉が担当した。
- 6 調査に関する資料は久慈市教育委員会が一括して保管してある。

# 目 次

序	
例 言	
第Ⅰ章 分布調査の概要	1
第Ⅱ章 調査結果	4
1 北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区	4
2 滝ノ沢地区	9
3 大渡、小倉、馬寄地区	12
4 白石峠地区	17
5 山屋敷、新山地区	21
6 久喜地区	25
7 三崎、小袖地区	30
8 館石、小袖沢、大尻地区	45
9 まとめ	56

## 図 版 目 次

第1図 分布調査対象範囲図	3	第17図 三崎、小袖地区遺跡分布図	31
第2図 北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区遺跡分布図	5	第18図 三崎、小袖地区表採遺物(1)	32
第3図 宇部館平面図	6	第19図 三崎、小袖地区表採遺物(2)	33
第4図 地京沢、田子沢地区表採遺物	7	第20図 三崎、小袖地区表採遺物(3)	34
第5図 滝ノ沢地区遺跡分布図	10	第21図 三崎、小袖地区表採遺物(4)	35
第6図 滝ノ沢地区表採遺物	11	第22図 三崎、小袖地区表採遺物(5)	36
第7図 大渡、小倉、馬寄地区遺跡分布図	13	第23図 三崎、小袖地区表採遺物(6)	37
第8図 大渡、小倉、馬寄地区表採遺物(1)	14	第24図 三崎、小袖地区表採遺物(7)	38
第9図 大渡、小倉、馬寄地区表採遺物(2)	15	第25図 館石、大尻、小袖沢地区遺跡分布図	46
第10図 白石峠地区遺跡分布図	18	第26図 館石地区表採遺物	47
第11図 白石峠一里塚西塚、東塚平面図	19	第27図 館石、大尻、小袖沢地区表採遺物	48
第12図 山屋敷、新山地区遺跡分布図	22	第28図 館石地区表採遺物	49
第13図 新山一里塚西塚、東塚、平沢一里塚西塚平面図	23	第29図 館石、大尻地区表採遺物	50
第14図 久喜地区遺跡分布図	26	第30図 館石、小袖沢地区表採遺物	51
第15図 久喜地区表採遺物(1)	27	第31図 館石、大尻地区表採遺物	52
第16図 久喜地区表採遺物(2)	28		

## 写真図版目次

第1図版	北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区表採遺物、遺跡	8
第2図版	滝ノ沢地区表採遺物、遺跡	11
第3図版	大渡、小倉、馬寄地区表採遺物	15
第4図版	大渡、小倉、馬寄地区遺跡	16
第5図版	白石峠一里塚西塚、東塚	20
第6図版	山屋敷、新山地区遺跡	24
第7図版	久喜地区表採遺物、遺跡	29
第8図版	三崎、小袖地区表採遺物	40
第9図版	三崎、小袖地区表採遺物	41
第10図版	三崎、小袖地区表採遺物、遺跡	42
第11図版	三崎、小袖地区遺跡	43
第12図版	三崎、小袖地区遺跡	44
第13図版	館石、大尻、小袖沢地区表採遺物	53
第14図版	館石、大尻、小袖沢地区表採遺物、遺跡	54
第15図版	館石、大尻、小袖沢地区遺跡	55

## 第I章 分布調査の概要

岩手県久慈市は北上山地北東部に位置する。経緯度は、東経141度38分～141度52分、北緯40度00分～40度17分である。広さは、東西21km、南北33km、面積は325,66km<sup>2</sup>である。九戸郡種市町・大野村・山形村・野田村及び下閉伊郡岩泉町に接し、東は太平洋に面する。久慈湾に注ぐ久慈川、長内川、夏井川流域、野田湾に注ぐ宇部川流域に主な集落が形成され、市域の約82%が山林原野で、気候は夏は涼しく、冬は温暖である。人口は約4万人である。

久慈市内においては、現在約200箇所の遺跡が確認されている。主に、畑地などに利用されている箇所において遺跡の所在が確認されているが、山林地が大半を占めているため、未確認の遺跡が多く存在するものと予想される。

近年、当市内においても各種開発が急増しており、それらに伴う発掘調査件数も増加している。これらの各種開発と埋蔵文化財保護との調整に資するため、遺跡台帳を整備し、遺跡の保護を図ることを目的とし、当市教育委員会では、平成元年度から4年次計画で国庫補助及び県費補助を導入し遺跡詳細分布調査を実施している。平成4年度は4年次計画の4年目で、宇部町地区を主な対象とし分布調査を実施した。(第1図)

平成元年度は、侍浜町本波・麦生地区、夏井町半崎・田中・閉伊口・宇津目・鼻館・大崎地区、源道・旭町地区、平成2年度は、長内町地区、柏崎地区及び小久慈地区、平成3年度は、門前・天神堂・寺里・沢里・畑田・枝成沢・川貫・大川目町地区を対象に分布調査を実施した。

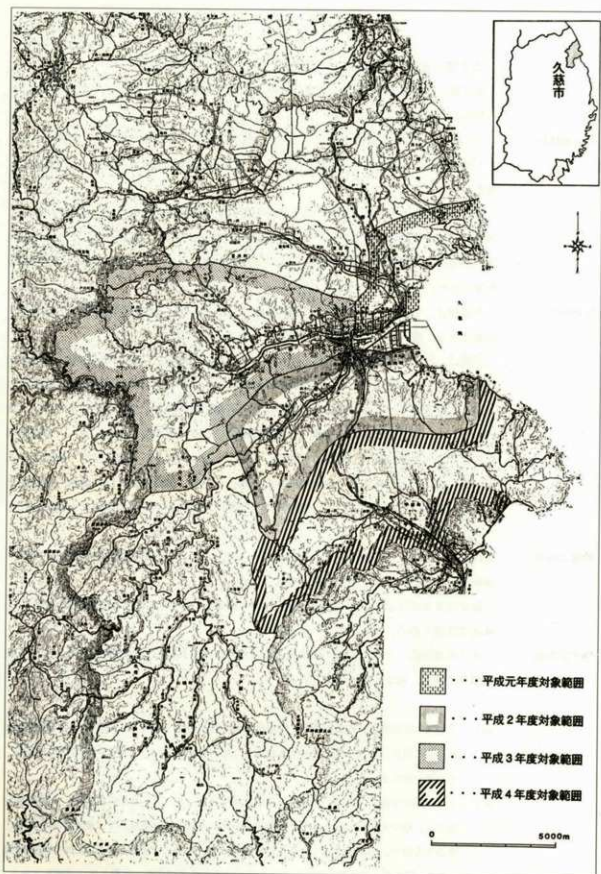
今年度の分布調査の結果、対象地において、周知の遺跡18箇所に加え、新たに39箇所の遺跡が発見された。計57遺跡である。なお、これまで埋蔵文化財包蔵地として知られていたにもかかわらず、遺跡台帳に未登録であった遺跡については、新発見として取り扱うこととした。山林地については遺跡の所在確認が不可能な箇所もあったため、対象地区内における遺跡数はさらに増加するものと思われる。

調査の結果は、遺跡詳細分布調査カードに記載し、市教育委員会で保管している。

なお、久慈市は昭和29年11月3日に久慈町、長内町、大川目村、山根村、夏井村、侍浜村、宇部村の2町5村が合併して、市制施行がなされ現在に至っている。遺跡分布図を作成する際に各地区の区分を次のとおりとして取り扱ったので表としてあらわしておく。

大区分	小 区 分					
久慈地区	川貫	西の沢	荒町	八日町	十八日町	二十八日町
	中町	新町	巽町	柏崎	本町	川崎町
	駅前	表町	中の橋	田屋	新井田	湊町
	源道	旭町	京の森	門前	新中の橋	天神堂
	栄町	寺里	畑田	沢里	枝成沢	津内口
	碁石	広野	中崎			
小久慈町地区	古山	誂子	横合	田高良	鉄山	堀内
	日吉町	白山	川代	和野	岸里	岩瀬張
	上日当	中里	下日当	大沢田	秋葉	柏木
	幸町					
長内町地区	新築町	田高	上長内	新長内	広美町	中長内
	下長内	元木沢	平沢	玉の脇	二子	大尻
大川目町地区	生出町	仲小路	新丁	千草	三日町	砂子
	森	山口	外里	田子内	中田	新町
	田中	神成	長久保	根森	水無	荒津前
	馬内	根井	滝			
夏井町地区	川代	大芦	中崎	門の沢	富原	蟹屋敷
	沢山	切屋田	国坂	小田	生平	葡萄峰
	夏井	蕪田	黒沼	早坂	野中	大崎
	田沢	駅前	大湊	鼻館	住吉	閉伊口
	半崎	板橋	田中	宇津目	鳥谷	国丹
	菱倉					
侍浜町地区	角柄	堀切	砂沢	長崎	高家	桑畑
	外屋敷	本町	向町	北野	保土沢	横沼
	白前	本波	麦生			
宇部町地区	小倉	大渡	長坂	馬寄	大畑	滝ノ沢
	和野	北の越	日向	町	田子沢	地京沢
	中田	山屋敷	川原屋敷	谷地中	山田	大沢
	久喜	三崎	小袖	小袖沢	館石	
山根町地区	岩脇	深田	大石	長坂	相沢	横倉
	虫豆	馬渡	高根	戸鎖沢	逸川	草木
	椋の木	小田瀬	川又	木売内	保礼羅	橋場
	浅小沢	年越	葛形	千足	村井	細野
	塚宗	細工藤	野頭	端神	得部	清水川
	大久保	円館	栃沢	下戸鎖	下野馬越	
	中戸鎖	竹倉部	上戸鎖	赤馬立	玉沢	





第1図 分布調査対象範囲図

## 第Ⅱ章 調査結果

### 1 北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区（第2～4図、第1図版）

北ノ越、和野地区は、南東に流れ太平洋に注ぐ宇部川の左岸、地京沢、田子沢地区は、宇部川の右岸に相当する。

#### 北ノ越地区

十三塚は、宇部川の左岸に立地しており、標高は約60mである。現況は、山林である。十三塚と呼ばれ、地名としても残っている。塚は1基存在するのみである。塚の径は、南北

7.80m、東西7.60mを測る。高さは、東から西に下る緩斜面であるため、東方で0.70m、西方で2.0mを測る。天正19年（1591年）九戸政実の乱の際に、南方方についた宇部館の館主野田氏を久慈備前守政則の家臣13人が宇部館を襲ったが、返り討ちにあい切り伏せられ罪られた。その場所を十三塚と称したとされている。（註1）

#### 和野地区

宇部館は、宇部川とその支流北ノ越川に挟まれ南東に延びる丘陵の先端部に立地する平山城である。館からは宇部川沿いの平野が一望できる。

遺構は、郭、二重の空堀、土塁が残っている。丘陵先端部から約300m西側の部分を二重の空堀によって切っている。外側の堀は幅約20m、深さ12～15m、内側の堀は幅約7m～20m、深さ約5～6mを測る。二重の空堀の東側に東西に長く郭が設けられており、東西約190m、南北約20～60mを測り、丘陵先端部にむかい幅が狭くなる。また、郭西端部にはさらに人為的な段が二段認められる。土塁は、郭の西側から北側にかけて幅約2～4m、長さ約110m、高さ約1m前後にわたり残っている。郭西端部には八幡宮の小祠があるため八幡館とも呼ばれている。館主は一戸南部氏の後裔である一戸野田氏と推定されている。（註2）

#### 地京沢地区

地京沢Ⅰ遺跡は、宇部川右岸の標高約60mの南から北に下る緩斜面に立地する。現況は畑地及び荒れ地である。縄文土器が表採される。

地京沢Ⅱ遺跡は、地京沢Ⅰ遺跡の南西方向約500mに位置し、同一の段丘面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

#### 田子沢地区

田子沢遺跡は、宇部川右岸の標高約40mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

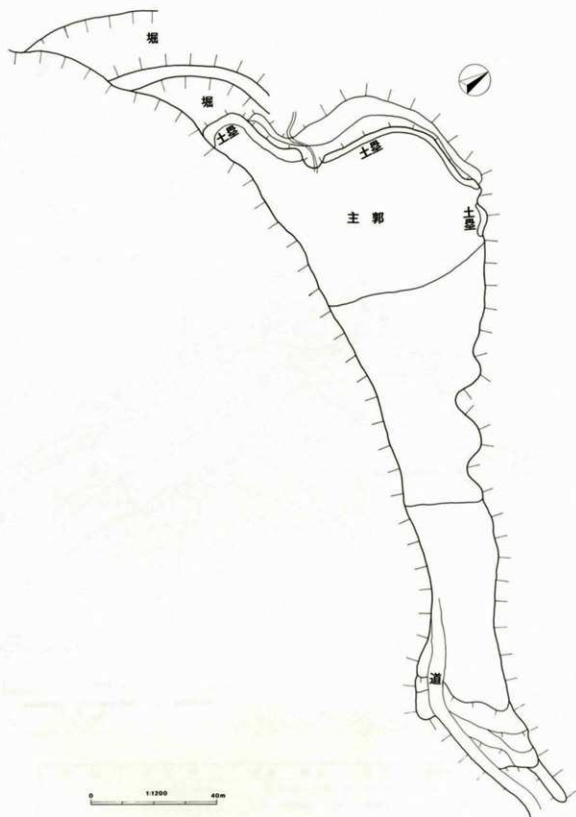
註1 『大南部野田領誌』野田氏系治、野田掃部助直親の条に「当代に九戸政実及久慈備前守の臣、戦に敗れ、十三人館に来て乱を為し、直親及海辺平内左工門盛永等切て之を葬る、十三塚と称す」とある。

註2 『大南部野田領誌』野田氏系治、南部源左衛門義親の条に「宇部館に居城す、大永七年十月死す、四十三。」とある。また野田掃部助直親の条に「直親始めて、在名野田を用いて野田氏を称す。古館を置ちて、宇部館に居る。～（中略）～元和六年五月五日、初め政親なるを、諱字賜ふて直親と改む。」とある。大永7年は1527年、元和6年は1620年である。



番号	遺跡名	原遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	十三塚	JG40.2072	散布地	塚、縄文土器(後期)	宇部町第3地割	
2	宇部館	JG50.0028	城館跡	主郭、二重堀切、土塁	宇部町第3地割	
3	地京沢Ⅰ遺跡	JG50.0171	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第6地割	新規
4	地京沢Ⅱ遺跡	JG50.0097	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第6地割	新規
5	田子沢遺跡	JG50.1200	散布地	縄文土器(前・後期)、石器	宇部町第7地割	新規

第2図 北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区遺跡分布図



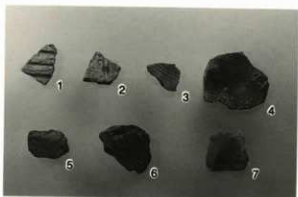
第3圖 宇部館平面圖



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	地京沢Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	並行沈線		第1図版1
2	地京沢Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第1図版2
3	"	縄文土器深鉢	R L単節		第1図版3
4	田子沢遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第1図版4
5	"	縄文土器深鉢	R L単節	継継合	第1図版5
6	"	縄文土器深鉢	L R単節		第1図版6

番号	遺跡名	器種	形態	測量値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
7	田子沢遺跡	ビスエスキュー		2.6	2.9	0.7	5.1	硬質頁岩	第1図版7	

第4図 地京沢、田子沢地区 表採遺物



地京沢 I (1)、地京沢 II (2・3)、田子沢 (4~7) 遺跡



十三塚 (南より)



宇部館主郭 (東より)



宇部館内堀 (北より)



宇部館外堀 (北より)



地京沢 I 遺跡 (東より)



地京沢 II 遺跡 (北より)



田子沢遺跡 (南東より)

第 1 図版 北ノ越、和野、地京沢、田子沢地区表採遺物、遺跡

## 2 滝ノ沢地区 (第5・6図、第2図版)

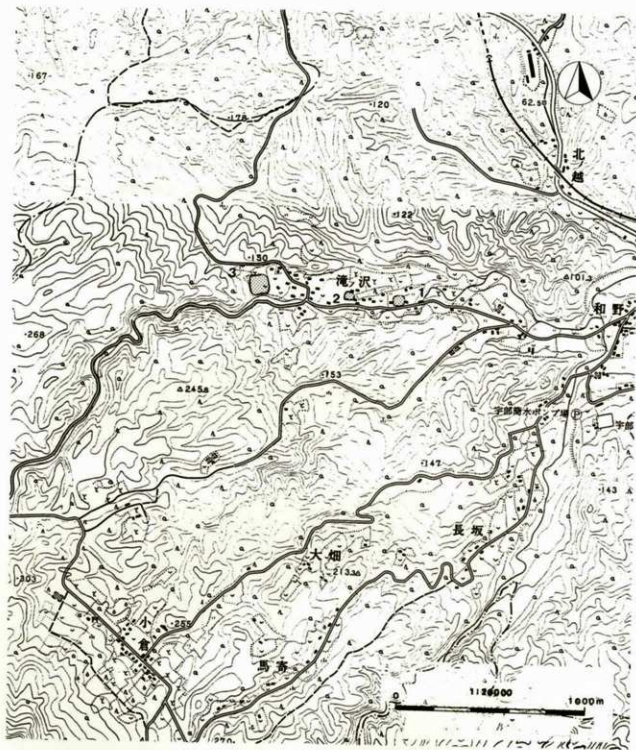
滝ノ沢地区は、宇部川中流域に開けた地区である。

滝ノ沢Ⅰ遺跡は、標高約70mで、北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

滝ノ沢地区

滝ノ沢Ⅱ遺跡は、標高約80mの北から南に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

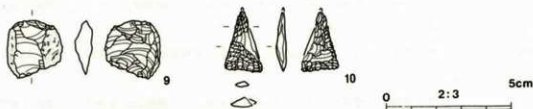
滝ノ沢Ⅲ遺跡は、標高約110mで、西から東に下る緩斜面に立地する。遺跡の北側及び南側にはそれぞれ宇部川の支流が東流し、その支流に挟まれた面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	滝ノ沢 I 遺跡	JF59-0349	敷布地	縄文土器(後期)、石器	宇部町第2地割	新規
2	滝ノ沢 II 遺跡	JF59-0343	敷布地	縄文土器(後期)	宇部町第2地割	新規
3	滝ノ沢 III 遺跡	JF59-0248	敷布地	縄文土器(前期)、石鏃	宇部町第2地割	新規

第5図 滝ノ沢地区遺跡分布図





番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	滝ノ沢Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第2図版1
2	"	縄文土器深鉢	L R半節		第2図版2
3	"	縄文土器深鉢	沈線文、R L半節		第2図版3
4	滝ノ沢Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	燃赤文		第2図版4
5	滝ノ沢Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	R L半節	織継含	第2図版5
6	"	縄文土器深鉢	L R半節	織継含	第2図版6
7	"	縄文土器深鉢	L R半節		第2図版7
8	"	縄文土器深鉢	無文	織継含	第2図版8

計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	測量値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考	
				長さ	幅	厚さ					
9	滝ノ沢Ⅰ遺跡	ピエスエスキュー		2.3	2.2	0.7	3.9	硬質頁岩	第2図版9		
10	滝ノ沢Ⅱ遺跡	石鏃		平基無玉(2.4)			1.5	0.4	(0.8)	硬質頁岩	第2図版10

第6図 滝ノ沢地区表採遺物



滝ノ沢Ⅰ(1~3、9)、滝ノ沢Ⅱ(4)、滝ノ沢Ⅲ(5~8、10)遺跡



滝ノ沢Ⅰ遺跡(西より)



滝ノ沢Ⅱ遺跡(南西より)



滝ノ沢Ⅲ遺跡(東より)

第2図版 滝ノ沢地区表採遺物、遺跡

### 3 大渡、小倉、馬寄地区 (第7～9図、第3・4図版)

大渡地区は、宇部川上流域の地区である。

#### 大渡地区

大渡Ⅰ遺跡は、標高約 250mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。土師器が表採される。

大渡Ⅱ遺跡は、標高約 260mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

#### 小倉地区

小倉、馬寄地区は、宇部川上流域、小倉山の東側裾部に拓けた地区で、平坦面が広く形成されている。

小倉Ⅰ遺跡は、標高約 250mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は桑畑である。縄文土器、石器が表採される。

小倉Ⅱ遺跡は、標高約 260mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

小倉Ⅲ遺跡は、標高約 260mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

小倉Ⅳ遺跡は、標高約 250mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器と思われる土器が表採される。

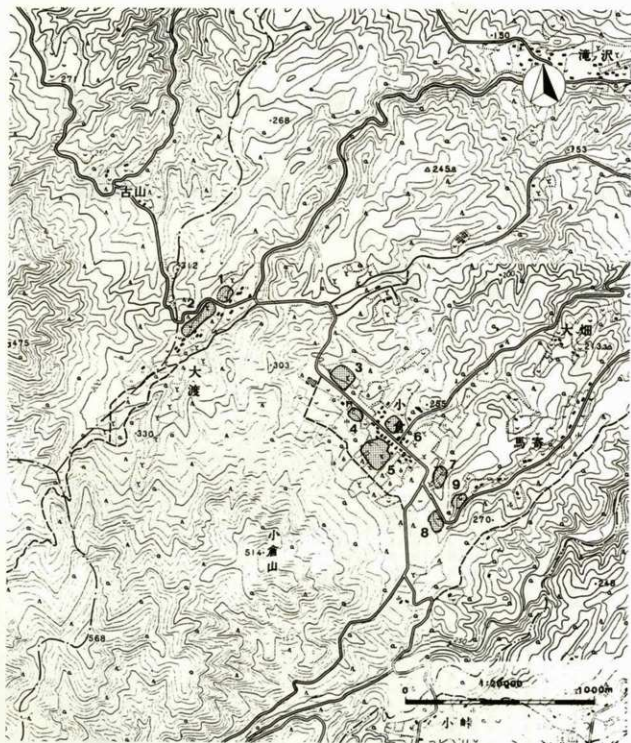
小倉Ⅴ遺跡は、標高約 250mの、北東から南西に延びる丘陵上に立地する。現況は桑畑である。縄文土器が表採される。

小倉Ⅵ遺跡は、標高約 260mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

#### 馬寄地区

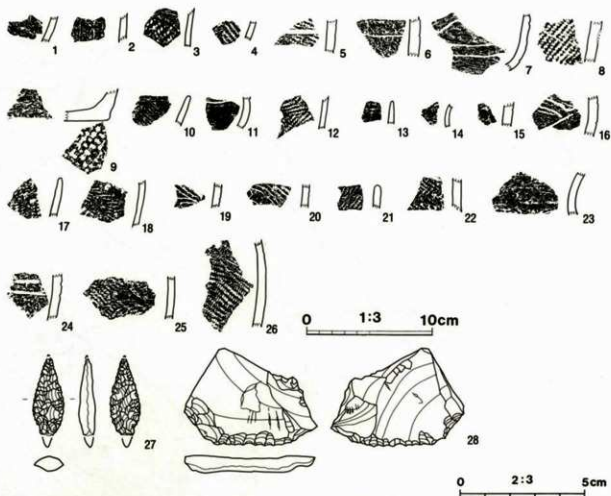
馬寄遺跡は、標高約 250mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

小倉地区では、遺物の散布量の多寡があるものは全域において縄文期の遺物が表採される。平坦面も広く形成されており、本地区のいずれかの箇所に拠点的な縄文期の集落跡が存在するものと推定される。



番号	遺跡名	単遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	大渡Ⅰ遺跡	JF59-1164	散布地	土師器	宇部町第2地割	新規
2	大渡Ⅱ遺跡	JF59-1184	散布地	縄文土器(後期)、石鏃	宇部町第2地割	新規
3	小倉Ⅰ遺跡	JF59-2210	散布地	縄文土器(後期)、磨製石斧、石器	宇部町第2地割	新規
4	小倉Ⅱ遺跡	JF59-2231	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第1地割	新規
5	小倉Ⅲ遺跡	JF59-2252	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第1地割	新規
6	小倉Ⅳ遺跡	JF59-2553	散布地	縄文土器?	宇部町第1地割	新規
7	小倉Ⅴ遺跡	JF59-2266	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第1地割	新規
8	小倉Ⅵ遺跡	JF59-2295	集落跡	縄文土器(後期)	宇部町第1地割	新規
9	馬寄遺跡	JF59-2286	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第1地割	新規

第7図 大渡、小倉、馬寄地区遺跡分布図

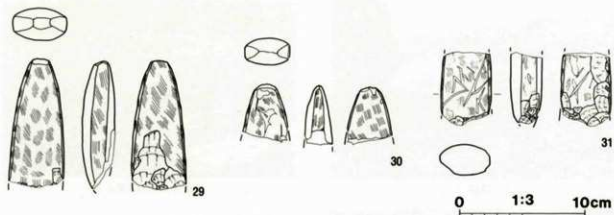


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	大渡Ⅰ遺跡	土師器 甕	外面ヘラナデ、内面刷毛目		第3図版1
2	大渡Ⅰ遺跡	土師器 甕	外面ヘラナデ、内面刷毛目		第3図版2
3	大渡Ⅱ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版3
4	大渡Ⅱ遺跡	縄文土器 深鉢	R L 単節		第3図版4
5	小倉Ⅰ遺跡	縄文土器 深鉢	平行沈線文、L R 単節		第3図版5
6	小倉Ⅰ遺跡	縄文土器 深鉢	沈線文		第3図版6
7	小倉Ⅰ遺跡	縄文土器 深鉢	沈線文		第3図版7
8	小倉Ⅰ遺跡	縄文土器 深鉢	R L 単節		第3図版8
9	小倉Ⅰ遺跡	縄文土器 深鉢	無文	底部網代痕	第3図版9
10	小倉Ⅱ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版10
11	小倉Ⅱ遺跡	縄文土器 変	沈線文		第3図版11
12	小倉Ⅲ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版12
13	小倉Ⅲ遺跡	縄文土器 深鉢	無文		第3図版13
14	小倉Ⅳ遺跡	縄文土器 深鉢	無文		第3図版14
15	小倉Ⅳ遺跡	縄文土器 深鉢	無文		第3図版15
16	小倉Ⅴ遺跡	縄文土器 深鉢	沈線文、L R 単節		第3図版16
17	小倉Ⅴ遺跡	縄文土器 深鉢	R L 単節		第3図版17
18	小倉Ⅴ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版18
19	小倉Ⅵ遺跡	縄文土器 深鉢	沈線文		第3図版19
20	小倉Ⅵ遺跡	縄文土器 深鉢	沈線文		第3図版20
21	小倉Ⅵ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版21
22	小倉Ⅵ遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版22
23	馬寄遺跡	縄文土器 深鉢	無文		第3図版23
24	馬寄遺跡	縄文土器 深鉢	平行沈線文		第3図版24
25	馬寄遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版25
26	馬寄遺跡	縄文土器 深鉢	L R 単節		第3図版26

計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	測長(単位cm)	重量(単位g)	石質	写真図版	備考
27	大渡Ⅰ遺跡	石版	凸基有葉	(3.1) 1.2 0.6	(2.1)	硬質頁岩	第3図版27	
28	小倉Ⅰ遺跡	スクレイパー		3.9 5.3 0.8	14.1	硬質頁岩	第3図版28	

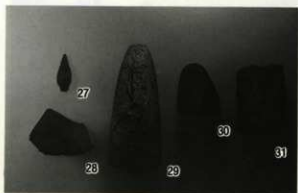
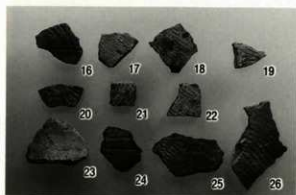
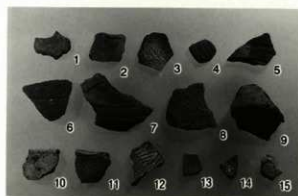
第8図 大渡、小倉、馬寄地区表採遺物(1)



計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
29	小倉 I 遺跡	磨製石斧		(10.3)	(4.3)	2.6	(172.3)	花崗岩	第3図版29	
30	小倉 I 遺跡	磨製石斧		(4.6)	(3.6)	(2.2)	(51.6)	閃緑岩	第3図版30	
31	小倉 I 遺跡	磨製石斧		(5.9)	(4.0)	(2.5)	(106.6)	砂岩	第3図版31	

第9図 大波、小倉、馬寄地区表採遺物(2)



- 大波 I 遺跡 1、2  
 大波 II 遺跡 3、4、27  
 小倉 I 遺跡 5～9、28～31  
 小倉 II 遺跡 10  
 小倉 III 遺跡 11～13  
 小倉 IV 遺跡 14～15  
 小倉 V 遺跡 16～18  
 小倉 VI 遺跡 19～22  
 馬寄遺跡 23～26

第3図版 大波、小倉、馬寄地区表採遺物



大渡 I 遺跡(南より)



大渡 II 遺跡(南東より)



小倉 I 遺跡(南西より)



小倉 III 遺跡(西より)



小倉 IV 遺跡(南より)



小倉 V 遺跡(南西より)



小倉 VI 遺跡(北東より)



馬寄遺跡(南西より)

第4図版 大渡、小倉、馬寄地区遺跡

#### 4 白石峠地区 (第10・11図、第5図版)

宇部町と山根町の境には峠が連続しているが、そのうちのひとつが白石峠である。藩政時代に利用された沼宮内廻り野田道のルートは盛岡～沼宮内～葛巻～関の角掛峠～小国～卯坂～木売内～橋場～下戸鎖～白石峠～小峠～宇部とされている。このルートは、久慈・野田地方の特産品である塩、鉄、海産物等を運んだルートとして、通称塩の道と呼ばれている。久慈市域においては、白石峠に一里塚が現存している。

一里塚は2基一対で現存しており、標高約470mの北東から南西に下る斜面に立地し、現況は山林である。塚の間は県道によって切り通しとなっている。

斜面下方の西塚は、北東から南西にやや長い楕円形を呈し、北東～南西10.5m、北西～南東8.5m、高さは北側で0.5m、南側で2.1mを測る。塚の東側裾部がわずかに県道により削られている。

斜面上方の東塚は、全体が凹地になっており、凹地の内部が高まりが確認できる状況である。凹地の規模は北東～南西13m、北西～南東は県道によって若干削られており、 $14m + \alpha$ を測る。凹地内部の塚の規模は北東～南西6m、北西～南東8m、高さ0.7mを測る。

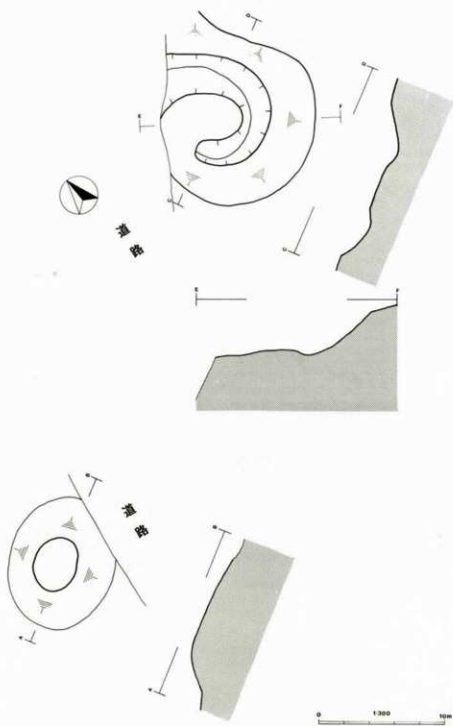
塚の間の距離は、頂部で約38mである。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	白石峠一里塚西塚	JF69・2006	塚		山根町	新規
2	白石峠一里塚東塚	JF69・2006	塚		山根町	新規

第10図 白石峠地区遺跡分布図





第11圖 白石峰一里塚西塚、東塚平面圖



白石峠一里塚東塚(南東より)



同左(北東より)



同上(北より)



白石峠一里塚西塚(東より)



白石峠一里塚西塚(北より)



同左(南より)

第5図版 白石峠一里塚西塚、東塚

## 5 山屋敷、新山地区 (第12・13図、第6図版)

山屋敷、新山地区は、宇部川左岸に相当する。

山屋敷遺跡は、宇部川とその支流である谷地中川に挟まれ、南東に延びる丘陵の南東端部に位置する。標高約40～50mの北東から南西に下る緩斜面に立地し、現況は畑地である。山屋敷遺跡は、昭和49年に久慈市教育委員会によって発掘調査が行なわれている。広く畑地利用されていたため、地表面での観察によって、土色の違いから24棟の竪穴住居跡の存在が確認されている。しかしながら、毎年の耕作と強風による土砂の流出により遺跡の自然破壊が進行している状況で、保存措置を講ずるため、一部において発掘調査を行なったものである。調査により、奈良時代の竪穴住居跡1棟が検出されている。

上新山遺跡は、宇部川左岸の南に張り出した丘陵の南端部に位置する。標高約20～40mの北から南に下る緩斜面に立地し、現況は畑地である。遺跡範囲は野田村にも広がっており、野田村分は中新山遺跡と呼ばれているが、同一の面に形成された遺跡である。なお、中新山遺跡からは、蕨手刀が出土している。

上新山遺跡は昭和52年に当市教育委員会によって発掘調査が行なわれている。山屋敷遺跡同様自然破壊が進行しており、自然消滅する前に調査保存を図ったものである。調査の結果、縄文時代の陥し穴状遺構1基、奈良時代の竪穴住居跡2棟が検出されている。

新山一里塚は、新山地区の久慈市と野田村の境界に位置する。藩政時代に利用された浜街道のルートは、仙台領から海岸沿いを通っており、久慈市域におけるルートは、新山～川原屋敷～平沢～長内～柏崎～荒町～門前～漢町～板橋～侍浜町を経て八戸に至るとされている。久慈市域の浜街道では新山と平沢において一里塚の存在が確認されている。

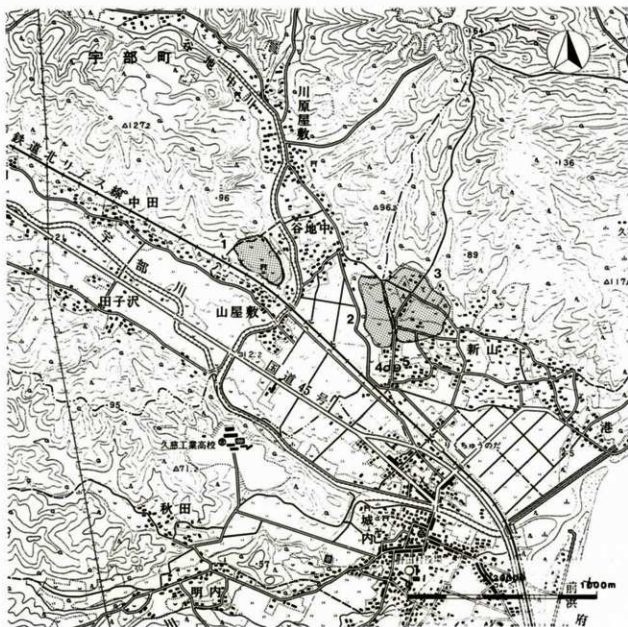
新山一里塚は2基一対で残存しており、西塚は久慈市、東塚は野田村に所在する。塚の間には道路が通っている。西塚は東側裾部が道路によって一部削られ、東塚は北側裾部がビニールハウスによって一部削られている。西塚は南北にやや長い楕円形を呈し、南北 8.8m、東西 6.7m +  $\alpha$ 、高さ約 1.5mを測る。東塚は南北 8.2m +  $\alpha$ 、東西 8.9m、高さ約 2.5mを測る。塚の間の距離は頂部で約21mである。(第13図)

同じ街道沿いにある平沢一里塚は、当初2基一対であったが、現在は西塚のみが残存している。西塚の計測値は、南北 12.5m、東西12.1m、高さ約 3.0mを測る。(第13図)

山屋敷地区

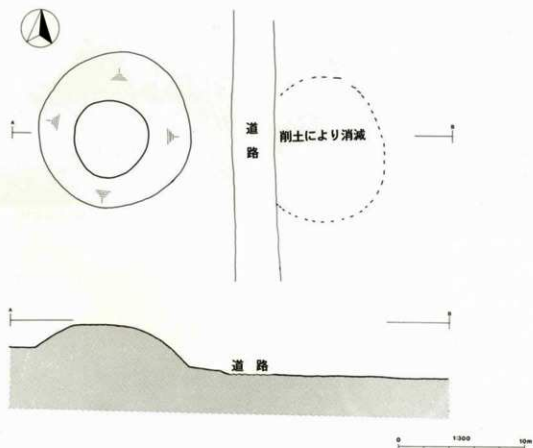
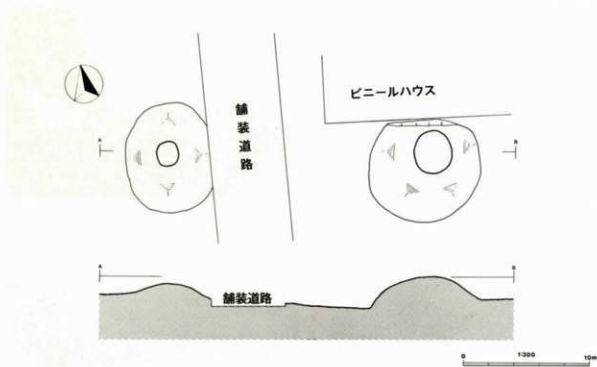
新山地区

平沢一里塚



番号	遺跡名	県道跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	山屋敷遺跡	JG50・0361	集落跡	縄文土器、弥生土器、土師器	宇部町第10地割	昭和49年度発掘調査実施、竪穴住居跡
2	上新山遺跡	JG50・1308	集落跡	土師器	宇部町第15地割	昭和52年度発掘調査実施、竪穴住居跡、陥穴
3	中新山遺跡	JG51・1032	散布地	縄文土器(後・晩期)、土師器	野田村	野田村所在
4	新山一里塚西塚	JG50・1319			宇部町第15地割	新規
5	新山一里塚東塚	JG50・1319			野田村	野田村所在

第12図 山屋敷、新山地区遺跡分布図



第13図 新山一里塚西塚・東塚、平沢一里塚西塚平面図



山屋敷遺跡(南西より)



同左(西より)



上新山遺跡(南東より)



同左(北西より)



新山一里塚東塚(南東より)



新山一里塚西塚(北東より)

第6図版 山屋敷、新山地区遺跡

## 6 久喜地区 (第14~16図、第7図版)

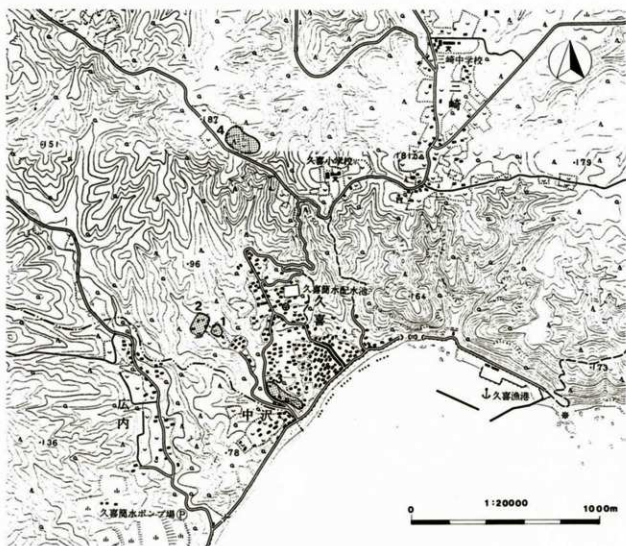
久喜地区は、三崎半島の南側で、野田湾に面している。開析が進行しており、急傾斜地に集落が密集している。

久喜Ⅰ遺跡は、標高約40mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。久喜地区  
弥生土器が表採される。

久喜Ⅱ遺跡は、標高約40mの北東から南西に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。  
縄文土器、土師器が表採される。

久喜Ⅲ遺跡は、北から南に延びる丘陵の先端部、海岸線近くに立地する。標高約40mで、北東から南西に下る緩斜面である。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。遺物の散布量の比較的多く、縄文時代前期前葉に属する土器がまとまっている。

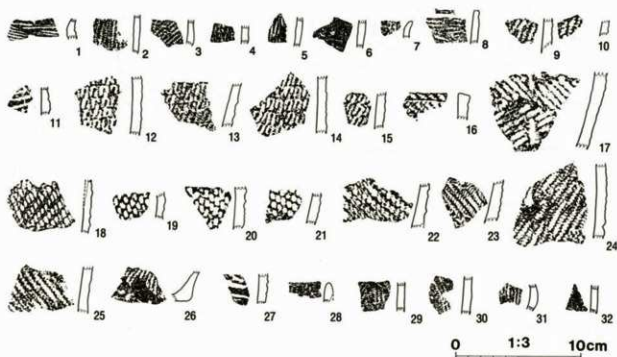
三崎Ⅰ遺跡は、三崎地区に所在する遺跡である。標高約180mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器等が表採される。三崎地区



番号	遺跡名	早遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	久喜Ⅰ遺跡	J641・2178	散布地	弥生土器	宇部町第20地割	新規
2	久喜Ⅱ遺跡	J641・2166	散布地	縄文土器(前期)、土師器	宇部町第20地割	新規
3	久喜Ⅲ遺跡	J641・2291	散布地	縄文土器(前・後期)、石鏃、磨石	宇部町第20地割	新規
4	三崎K遺跡	J641・1168	散布地	縄文土器、弥生土器?、フレイク	宇部町第19地割	新規

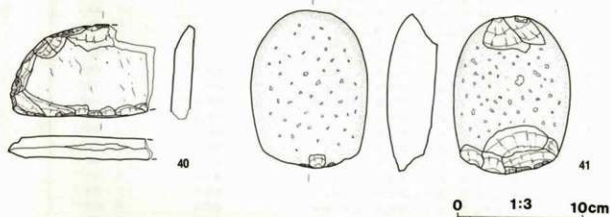
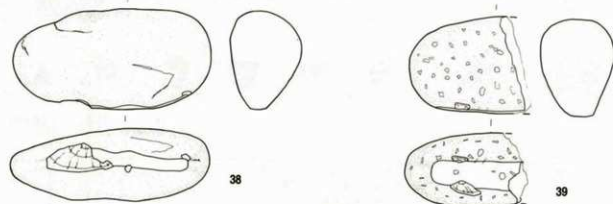
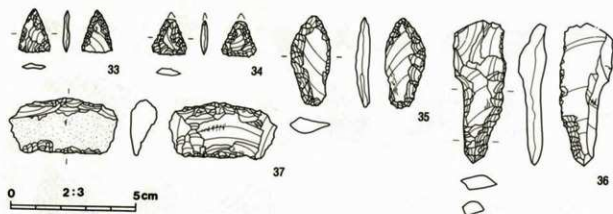
第14図 久喜地区遺跡分布図





番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	久喜Ⅰ遺跡	弥生土器	沈線文、LR単節		第7図版1
2	久喜Ⅰ遺跡	弥生土器	RL単節		第7図版2
3	久喜Ⅰ遺跡	弥生土器	LR単節		第7図版3
4	久喜Ⅰ遺跡	弥生土器	RL単節		第7図版4
5	久喜Ⅰ遺跡	弥生土器	RL単節		第7図版5
6	久喜Ⅰ遺跡	土器器斐	内外面ナデ		第7図版6
7	久喜Ⅱ遺跡	土器器斐	内外面横ナデ		第7図版7
8	久喜Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第7図版8
9	久喜Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節	織継合	第7図版9
10	久喜Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節	織継合	第7図版10
11	久喜Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	押しき沈線文	織継合	第7図版11
12	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	ループ文	織継合	第7図版12
13	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	ループ文	織継合	第7図版13
14	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	ループ文	織継合	第7図版14
15	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	ループ文	織継合	第7図版15
16	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節	織継合	第7図版16
17	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文	織継合	第7図版17
18	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	LRL複節	織継合	第7図版18
19	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	LRL複節	織継合	第7図版19
20	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RLR複節	織継合	第7図版20
21	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RLR複節	織継合	第7図版21
22	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RLR複節	織継合	第7図版22
23	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節	織継合	第7図版23
24	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節	織継合	第7図版24
25	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節	織継合	第7図版25
26	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節	織継合	第7図版26
27	久喜Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第7図版27
28	三崎K遺跡	縄文土器深鉢	無文		第7図版28
29	三崎K遺跡	弥生土器	RL単節、編縄文?		第7図版29
30	三崎K遺跡	弥生土器	RL単節、編縄文?		第7図版30
31	三崎K遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第7図版31
32	三崎K遺跡	縄文土器深鉢	縄文磨減		第7図版32

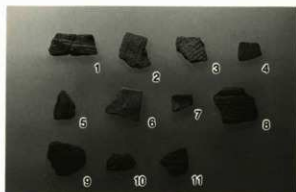
第15図 久喜地区表採遺物(1)



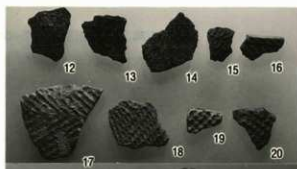
計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
33	久喜Ⅲ遺跡	石鏃	平基無茎	2.2	1.2	0.2	0.4	硬質頁岩	第7図版33	
34	久喜Ⅲ遺跡	石鏃	平基無茎	(1.4)	1.3	0.3	(0.4)	硬質頁岩	第7図版34	
35	久喜Ⅲ遺跡	石鏃	木ノ葉	3.6	1.6	0.5	2.8	粉板岩	第7図版35	
36	久喜Ⅲ遺跡	石鏃?		5.7	2.1	1.1	8.1	硬質頁岩	第7図版36	
37	三崎Ⅱ遺跡	二次加工を有する刮片		2.2	4.3	1.0	10.1	硬質頁岩	第7図版37	
38	久喜Ⅲ遺跡	磨石	断面三角形	8.0	15.8	5.8	1098.2	砂岩	第7図版38	
39	久喜Ⅲ遺跡	磨石	断面三角形	(7.8)	(9.9)	(6.1)	(564.5)	閃緑岩	第7図版39	
40	久喜Ⅲ遺跡	磨石	平坦状扁平	(7.9)	(11.5)	(1.8)	(208.2)	流紋岩	第7図版40	
41	久喜Ⅲ遺跡	礫器		12.5	9.4	3.9	745.9	閃緑岩	第7図版41	

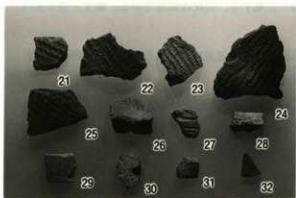
第16図 久喜地区表採遺物(2)



久喜 I (1~6)、久喜 II (7~11) 遺跡



久喜 III (12~20, 33~36, 38~41)、三崎Ⅱ (37) 遺跡



久喜 III (21~27)、三崎Ⅱ (28~32) 遺跡



久喜 I 遺跡 (北西より)



久喜 II 遺跡 (南東より)



久喜 III 遺跡 (東より)



三崎Ⅱ 遺跡 (西より)

第7図版 久喜地区表採遺物、遺跡

## 7 三崎、小袖地区 (第17~24図、第8~12図版)

三崎、小袖地区は、太平洋に張り出した三崎半島に形成された海岸段丘面に相当する。当地区は、広く平坦面が認められ、遺跡の分布密度も濃い。

### 三崎地区

三崎遺跡は、三崎地区では最も高い標高約180mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採されるが、遺物の分布密度は極めて濃く、その主体は縄文時代前期で、土器の大破片が畑に散在している。

三崎山遺跡は、標高約175mの平坦面に立地する。現況は一部が畑地で他はほとんど山林である。縄文土器、石器が表採される。

三崎Ⅰ遺跡は、標高約175mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

三崎Ⅱ遺跡は、標高約170mの南から北に下る緩斜面に立地する。現況は山林である。林道において縄文土器、石器が表採される。

三崎Ⅲ遺跡は、標高約180mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。三崎Ⅲ遺跡は、昭和52年に久喜小学校建設に伴い発掘調査が当市教育委員会によって行なわれた。調査の結果、縄文時代の陥し穴状遺構7基(縄文時代中期2基)、土壇6基が検出され、縄文時代中期、後期、弥生時代の遺物も出土している。

三崎Ⅳ遺跡は、標高約175mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

三崎Ⅴ遺跡は、標高約160mの平坦面に立地する。現況は山林であるため遺物の表採は不可能であった。

三崎Ⅵ遺跡は、標高約175mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

三崎Ⅶ遺跡は、標高約150mの平坦面に立地する。現況は荒地、山林である。縄文土器が表採される。

三崎Ⅷ遺跡は、標高約170mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

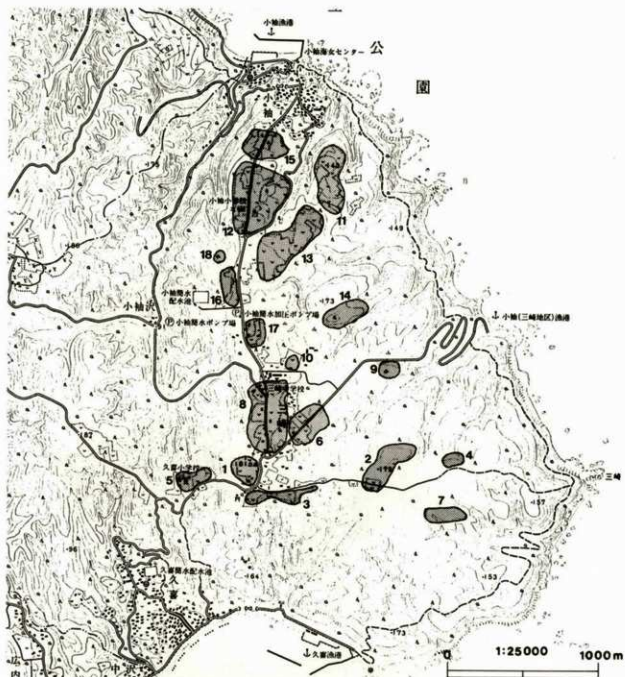
### 小袖地区

小袖Ⅰ遺跡は、標高約130~150mの南から北に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

小袖Ⅱ遺跡は、標高約170mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。小袖Ⅱ遺跡は昭和61年に小袖小学校建設に伴い当市教育委員会によって発掘調査が行なわれている。調査の結果、縄文時代の陥し穴状遺構6基(時期不明)、土壇6基(時期不明)、埋壘1基(縄文時代後期)が検出されている。

小袖Ⅲ遺跡は、標高約160~170mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

小袖Ⅳ遺跡は、標高約160~170mの平坦面に立地する。現況は荒地である。縄文時代の遺物が表採されるが、長年の風雨に晒され広範囲にわたって表土の消失が著しい状況である。自然破壊により消滅した可能性がある。



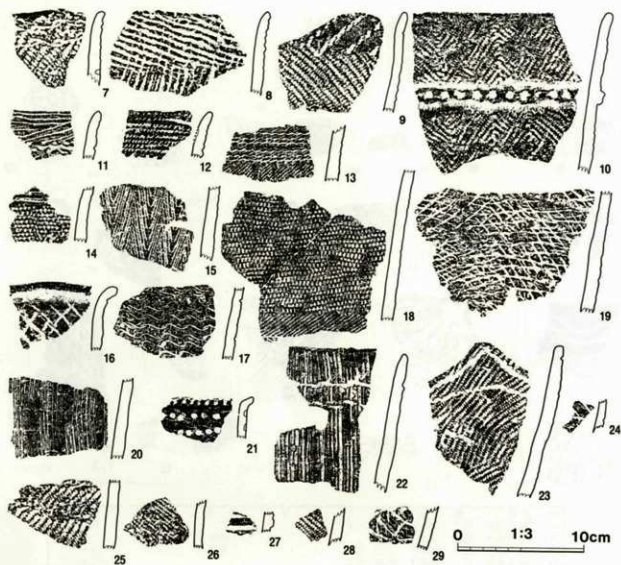
番号	遺跡名	町道跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	三崎遺跡	G41-1288	散布地	縄文土器(前・中期)、石斧、磨石	宇部町東22地割	
2	三崎山遺跡	G41-1379	集落跡	縄文土器(前期)、石斧	宇部町東22地割	
3	三崎I遺跡	G41-2301	集落跡	縄文土器(前・中期)	宇部町東22地割	
4	三崎II遺跡	G42-1071	集落跡	縄文土器(前期)、石斧、磨石、凹石	宇部町東22地割	
5	三崎III遺跡	G41-1294	集落跡	縄文土器(中・後期)、弥生土器	宇部町東20地割	昭和52年度発掘調査実施。陥没穴、土壌
6	三崎IV遺跡	G41-1342	散布地	縄文土器(前・後期)、石器	宇部町東22地割	
7	三崎V遺跡	G41-2021	散布地	縄文土器	宇部町東22地割	
8	三崎VI遺跡	G41-1238	散布地	縄文土器(中・後期)、石鏃、石斧	宇部町東22地割	新規
9	三崎VII遺跡	G41-1306	散布地	縄文土器(前期)	宇部町東22地割	新規
10	三崎VIII遺跡	G41-1209	散布地	縄文土器(前期)、石斧	宇部町東22地割	新規
11	小袖I遺跡	G31-1382	散布地	縄文土器(後期)、石斧	宇部町東22地割	
12	小袖II遺跡	G41-0208	付 壙	縄文土器(後期)、石斧、磨石、礫石	宇部町東23地割	昭和52年度発掘調査実施。陥没穴、土壌
13	小袖III遺跡	G41-0331	散布地	縄文土器(後期)、石鏃、石斧、礫石	宇部町東22地割	
14	小袖IV遺跡	G41-0374	散布地	縄文土器(後・晩期)、石鏃	宇部町東22地割	
15	小袖V遺跡	G31-2249	散布地	縄文土器(後期)、石器	宇部町東23地割	新規
16	小袖VI遺跡	G41-0256	散布地	縄文土器(前・後期)、弥生土器、石斧	宇部町東22地割	新規
17	小袖VII遺跡	G41-0288	散布地	弥生土器	宇部町東22地割	新規
18	小袖VIII遺跡	G41-0224	散布地	縄文土器(後期)	宇部町東23地割	新規

第17図 三崎、小袖地区遺跡分布図



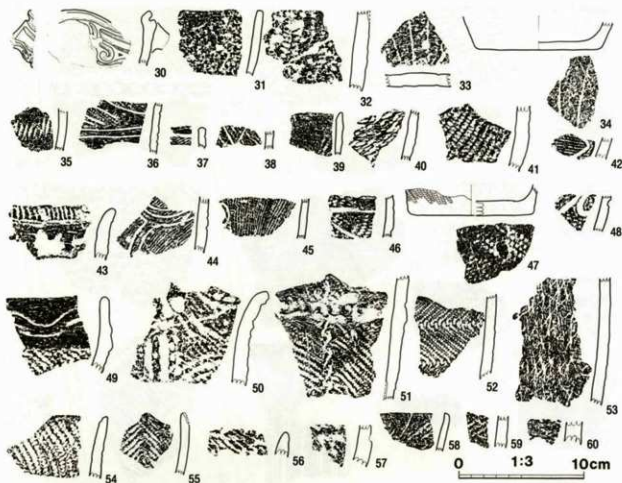
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	三崎遺跡	縄文土器深鉢	口縁部綾結文、胴部RL半節、LR半節	織経含	第8図版1
2	三崎遺跡	縄文土器深鉢	綾結文、LR半節	織経含	第8図版2
3	三崎遺跡	縄文土器深鉢	口縁部綾結文、LR半節、RLR複節	織経含	第8図版3
4	三崎遺跡	縄文土器深鉢	縹糸文	織経含	第8図版4
5	三崎遺跡	縄文土器深鉢	縹糸文	織経含	第8図版5
6	三崎遺跡	縄文土器深鉢	LR半節	織経含	第8図版6

第18図 三崎、小袖地区表採遺物(1)



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
7	三崎遺跡	縄文土器深鉢	綾結文、LR単節	織維含	第8図版7
8	三崎遺跡	縄文土器深鉢	燃糸文	織維含	第8図版8
9	三崎遺跡	縄文土器深鉢	原体圧痕、RL単節	織維含	第8図版10
10	三崎遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上門形刺突文、羽状織文	織維含	第8図版9
11	三崎遺跡	縄文土器深鉢	原体圧痕、連続刺突文	織維含	第8図版11
12	三崎遺跡	縄文土器深鉢	多軸絡条体圧痕、連続刺突文	織維含	第8図版12
13	三崎遺跡	縄文土器深鉢	綾結文、RL単節	織維含	第8図版13
14	三崎遺跡	縄文土器深鉢	矢羽根状原体圧痕、多軸絡条体	織維含	第8図版14
15	三崎遺跡	縄文土器深鉢	木目状燃糸文	織維含	第8図版15
16	三崎遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文	織維含	第9図版1
17	三崎遺跡	縄文土器深鉢	綾結文	織維含	第9図版2
18	三崎遺跡	縄文土器深鉢	多軸絡条体、LR単節	織維含	第8図版16
19	三崎遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文	織維含	第8図版17
20	三崎遺跡	縄文土器深鉢	集合沈線文	織維含	第9図版3
21	三崎遺跡	縄文土器深鉢	口唇上刺目、連続門形刺突文	織維含	第9図版4
22	三崎遺跡	縄文土器深鉢	糸線文、綾結文	織維含	第9図版7
23	三崎遺跡	縄文土器深鉢	波状口縁、原体圧痕、LR単節	織維含	第9図版8
24	三崎山遺跡	縄文土器深鉢	沈線文	織維含	第9図版5
25	三崎山遺跡	縄文土器深鉢	ループ文	織維含	第9図版6
26	三崎山遺跡	縄文土器深鉢	LR単節	織維含	第9図版9
27	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	沈線文	織維含	第9図版10
28	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	LR単節	織維含	第9図版11
29	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文	織維含	第9図版12

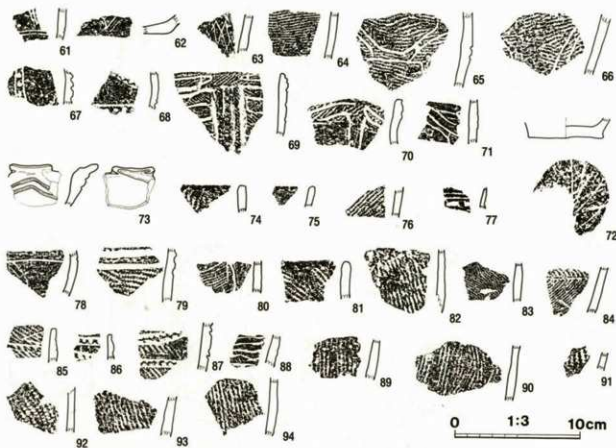
第19図 三崎、小袖地区表採遺物(2)



序号	遗物名	器 种	文 样	備 考	写真图版
30	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	渦巻状沈線文		第9国版13
31	三崎II遺跡	縄文土器深鉢	無文	織縷含	第9国版14
32	三崎II遺跡	縄文土器深鉢	L.R单節	織縷含	第9国版15
33	三崎II遺跡	縄文土器深鉢	底部木葉痕		第9国版17
34	三崎II遺跡	縄文土器深鉢	底部木葉痕		第9国版18
35	三崎II遺跡	縄文土器深鉢	L.R单節		第9国版16
36	三崎III遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R.L单節		第9国版19
37	三崎III遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L.R单節		第9国版20
38	三崎N遺跡	縄文土器深鉢	無節		第9国版21
39	三崎N遺跡	縄文土器深鉢	R.L单節、口唇上縄文		第9国版22
40	三崎N遺跡	縄文土器深鉢	綾絡文?	織縷含	第9国版23
41	三崎N遺跡	縄文土器深鉢	L.R单節	織縷含	第9国版24
42	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L.R单節		第9国版29
43	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	口縁原体疔痕、原体連續疔痕		第9国版26
44	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L.R单節		第9国版27
45	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、燃糸文		第9国版28
46	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R.L单節		第9国版30
47	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	L.R单節、底部網代痕		第9国版32
48	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R.L单節		第9国版31
49	三崎M遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、L.R单節	織縷含	第9国版25
50	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上押圧、原体疔痕、L.R单節		第9国版33
51	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上原体疔痕、綾絡文、L.R单節	織縷含	第9国版34
52	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文	織縷含	第9国版35
53	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文	織縷含	第9国版36
54	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	R.L单節	織縷含	第9国版37
55	三崎I遺跡	縄文土器深鉢	波状口縁、羽状縄文		第9国版38
56	三崎VII遺跡	縄文土器深鉢	口唇割目、L.R单節	織縷含、金雲母多含	第9国版39
57	三崎VII遺跡	縄文土器深鉢	原体疔痕?	織縷含、金雲母多含	第9国版40
58	三崎VII遺跡	縄文土器深鉢	縄文		第9国版41
59	三崎VII遺跡	縄文土器深鉢	L.R单節	織縷含	第9国版43
60	三崎VII遺跡	縄文土器深鉢	無文	織縷含	第9国版42

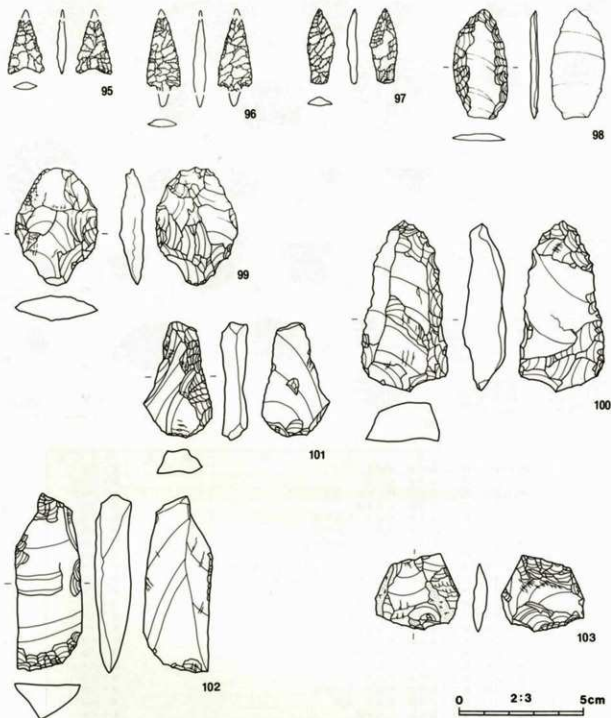
第20图 三崎、小袖地区表採遺物(3)





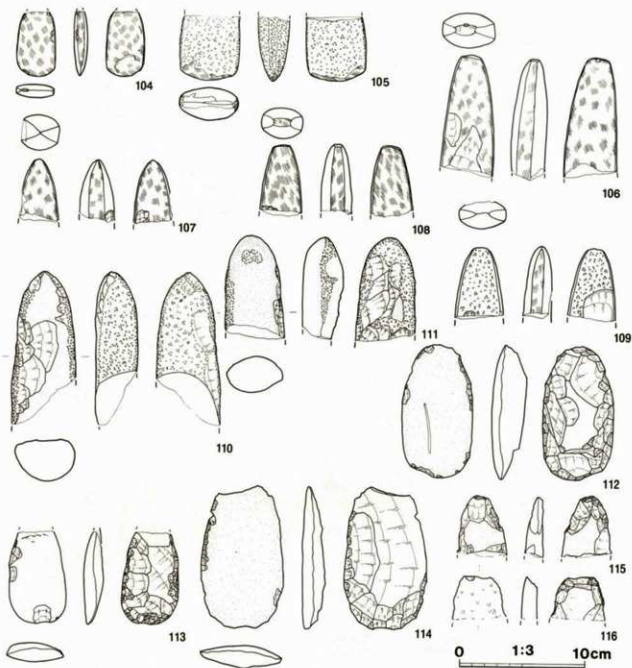
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
61	小袖I遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版44
62	小袖I遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版45
63	小袖I遺跡	縄文土器深鉢	網目状横糸文		第9図版46
64	小袖I遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版47
65	小袖II遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第9図版48
66	小袖II遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第9図版49
67	小袖II遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、円形刺突文		第9図版50
68	小袖II遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、円形刺突文		第9図版51
69	小袖III遺跡	縄文土器深鉢	階帯沈線文、竹管状刺突文、L R単節		第9図版52
70	小袖III遺跡	縄文土器深鉢	波状口縁、沈線文、無節縄文		第9図版53
71	小袖III遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版54
72	小袖III遺跡	縄文土器深鉢	底面木葉痕		第9図版55
73	小袖III遺跡	縄文土器深鉢	突起、沈線文		第9図版56
74	小袖IV遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版57
75	小袖IV遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版58
76	小袖IV遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版59
77	小袖IV遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、ミガキ		第9図版60
78	小袖V遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版61
79	小袖V遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第9図版62
80	小袖V遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、無節		第9図版63
81	小袖VI遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版64
82	小袖VI遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版65
83	小袖VI遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第9図版66
84	小袖VI遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文	織籠舎	第9図版67
85	小袖VI遺跡	弥生土器?	沈線文、連続刻目		第9図版68
86	小袖VII遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、連続刻目		第9図版69
87	小袖VII遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突文、R L単節		第9図版70
88	小袖VII遺跡	弥生土器深鉢	沈線文		第9図版71
89	小袖VII遺跡	弥生土器深鉢	R L編縄文		第9図版72
90	小袖VII遺跡	縄文土器深鉢	R L編縄文		第9図版73
91	小袖VII遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版74
92	小袖VII遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版75
93	小袖VII遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版76
94	小袖VII遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版77

第21図 三嶋、小袖地区表採遺物(4)



番号	遺跡名	器種	形態	測量値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
95	三崎Ⅴ遺跡	石鏃	凹基無茎	(2.1)	1.4	0.3	(0.7)	硬質頁岩	第9図版78	
96	小袖Ⅲ遺跡	石鏃	凹基有茎	(3.0)	1.3	0.5	(1.8)	硬質頁岩	第9図版79	
97	小袖Ⅴ遺跡	石鏃	平基無茎	3.0	1.1	0.4	1.0	硬質頁岩	第9図版80	
98	小袖Ⅲ遺跡	石槍?		4.4	2.2	0.3	3.6	粘板岩	第9図版81	
99	三崎遺跡	両面加工石器		4.7	3.3	1.0	14.6	硬質頁岩	第9図版82	
100	三崎遺跡	二次加工を有する刮片		6.8	3.4	1.7	39.6	硬質頁岩	第9図版83	
101	小袖Ⅴ遺跡	二次加工を有する刮片		4.6	2.7	1.1	12.0	硬質頁岩	第9図版84	
102	三崎Ⅴ遺跡	二次加工を有する刮片		7.1	2.7	1.5	30.4	硬質頁岩	第9図版85	
103	小袖Ⅴ遺跡	ピエスエスキュー		3.0	3.4	0.6	6.8	硬質頁岩	第9図版86	

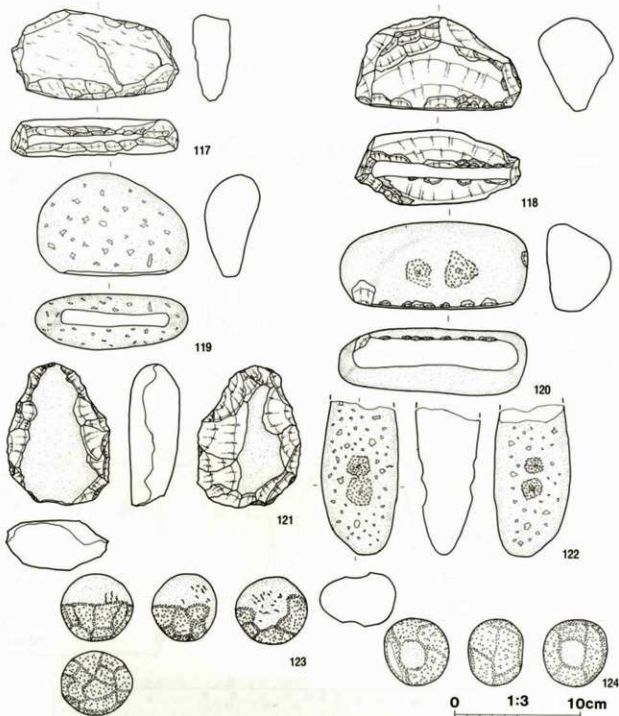
第22図 三崎、小袖地区表採遺物(5)



計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	測 量 値 (単位 cm)			重 量 (単位 g)	石 質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
104	小袖Ⅱ遺跡	磨製石斧		(5.2)	3.1	1.1	(31.7)	閃緑岩	第10図版 5	
105	小袖Ⅱ遺跡	磨製石斧		(5.1)	(4.8)	(2.5)	(99.1)	花崗閃緑岩	第10図版 6	
106	三崎Ⅱ遺跡	磨製石斧		(9.7)	(4.2)	(2.8)	(177.2)	砂岩	第10図版 7	
107	三崎Ⅱ遺跡	磨製石斧		(5.0)	(3.1)	(2.8)	(57.9)	閃緑岩	第10図版 8	
108	小袖Ⅱ遺跡	磨製石斧		(5.7)	(3.4)	(2.5)	(66.8)	花崗閃緑岩	第10図版 9	
109	小袖Ⅱ遺跡	磨製石斧		(5.7)	(3.8)	(2.2)	(67.4)	砂岩	第10図版 10	
110	三崎Ⅱ遺跡	打製石斧		(12.3)	(5.1)	(3.4)	(260.3)	安山岩	第10図版 11	
111	小袖Ⅱ遺跡	打製石斧		(8.3)	(4.8)	(3.3)	(185.7)	花崗岩	第10図版 12	
112	三崎遺跡	打製石斧		10.7	5.7	2.8	230.1	花崗閃緑岩	第10図版 13	
113	三崎山遺跡	打製石斧		(7.4)	4.5	1.5	(64.1)	粘板岩	第10図版 15	
114	小袖Ⅱ遺跡	打製石斧		11.4	6.6	1.8	167.7	閃緑岩	第10図版 17	
115	三崎Ⅱ遺跡	打製石斧		(4.9)	(4.0)	(1.5)	(28.5)	砂岩	第10図版 14	
116	小袖Ⅰ遺跡	打製石斧		(3.5)	(4.3)	(1.3)	(26.5)	花崗閃緑岩	第10図版 16	

第23図 三崎、小袖地区表探遺物(6)



計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	測量値(単位:cm)			重量 (単位:g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
117	三崎遺跡	磨石	平円状扁平	7.1	13.2	3.1	394.9	花崗岩	第9図版87	
118	三崎Ⅱ遺跡	磨石	断面三角形	7.4	13.2	6.0	685.4	花崗閃緑岩	第9図版88	
119	小袖Ⅱ遺跡	磨石	断面三角形	8.2	12.0	4.5	594.0	花崗岩	第9図版89	
120	小袖Ⅱ遺跡	磨石	断面三角形	7.0	15.0	5.3	868.4	硬砂岩	第9図版90	凹2ヶ所
121	三崎Ⅱ遺跡	礎石		11.4	8.2	4.0	517.8	閃緑岩	第10図版1	
122	三崎Ⅱ遺跡	凹石		(12.3)	6.1	(5.1)	(617.9)	花崗閃緑岩	第10図版2	凹4ヶ所
123	小袖Ⅱ遺跡	敲石		5.3	5.7	5.1	247.9	斑岩	第10図版4	
124	小袖Ⅱ遺跡	敲石		5.3	5.1	4.4	217.1	斑岩	第10図版3	

第24図 三崎、小袖地区表採遺物(7)

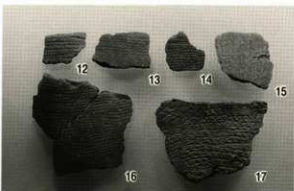
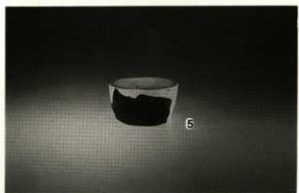
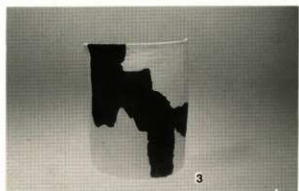
小袖V遺跡は、標高約140mの南から北に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

小袖VI遺跡は、標高約175mの平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、弥生土器、石器が表採される。

小袖VII遺跡は、標高約170mの平坦面に立地する。現況は畑地である。弥生土器が表採される。

小袖VIII遺跡は、標高約170mの南から北に下る緩斜面に立地する。現況は山林である。林道において縄文土器が表採される。





三崎(1~17)

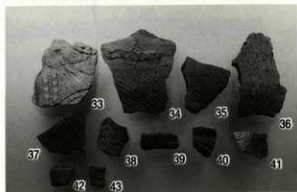
第8图版 三崎地区表採遺物



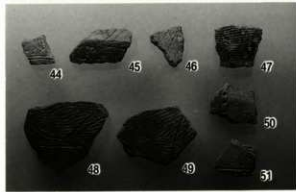
三崎(1~4、7、8)、三崎山(5~6、9)、三崎 I (10~13)



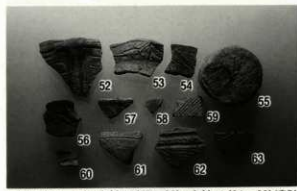
三崎 II (14~18)、三崎 III (19、20)、三崎 N (21~24)、  
三崎 VI (25~32)



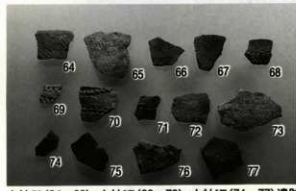
三崎 I (33~38)、三崎 VII (39~41)、三崎 VIII (42、43) (40、42)



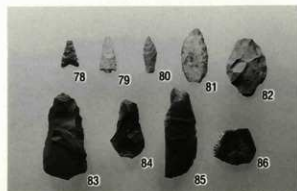
小袖 I (44~47)、小袖 II (48~51) 遺跡



小袖 III (52~56)、小袖 N (57~60)、小袖 V (61~63) 遺跡



小袖 N (64~68)、小袖 VII (69~73)、小袖 VIII (74~77) 遺跡

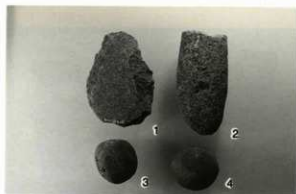


三崎 VI (78)、小袖 III (79、81)、小袖 N (80)、三崎 (82、83)、  
小袖 V (84、86)、三崎 N (85)

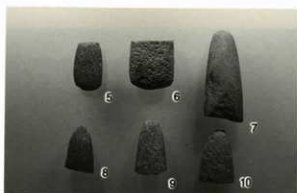


三崎 (87)、三崎 II (88)、小袖 II (89、90)

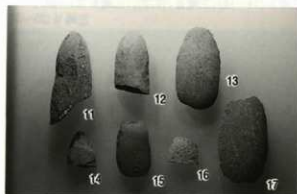
第9図版 三崎、小袖地区表採遺物



三崎Ⅱ(1、2)、小袖Ⅱ(3)、小袖Ⅲ(4)



小袖Ⅱ(5、9)、小袖Ⅵ(6)、三崎Ⅱ(8)、三崎Ⅵ(7)、  
小袖Ⅲ(10)



三崎Ⅱ(11)、小袖Ⅲ(12)、三崎(13)、三崎山(15)、  
三崎Ⅸ(17)、小袖Ⅰ(14)、小袖Ⅱ(16)



三崎遺跡(北東より)



三崎山遺跡(北西より)



三崎Ⅰ遺跡(西より)



三崎Ⅱ遺跡(東より)



三崎Ⅲ遺跡(南東より)

第10図版 三崎、小袖地区表採遺物、遺跡





三崎Ⅳ遺跡(南東より)



三崎Ⅵ遺跡(南東より)



三崎Ⅰ遺跡(北東より)



三崎Ⅶ遺跡(北西より)



三崎Ⅷ遺跡(北東より)



小袖Ⅰ遺跡(南西より)



小袖Ⅱ遺跡(南より)



小袖Ⅲ遺跡(南西より)

第11図版 三崎、小袖地区遺跡



小袖Ⅳ遺跡(南西より)



小袖Ⅴ遺跡(北より)



小袖Ⅵ遺跡(北東より)



小袖Ⅶ遺跡(南より)



小袖Ⅷ遺跡(北より)



三崎段丘遺景(南より)



第12図版 小袖地区遺跡

## 8 館石、小袖沢、大尻地区 (第25~31図、第13~15図版)

館石地区は、三崎地区の西方約2kmの海岸段丘面に相当する。三崎地区段丘面と同一の段丘であるが、館石地区が数m高い。

館石I遺跡は、標高約180~190mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は牧草地であるため、遺物の表採は不可能であった。

館石地区

館石II遺跡は、標高約190mの平坦面に立地する。現況は山林であるため、遺物の表採は不可能であった。

館石III遺跡は、標高約185mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

館石IV遺跡は、標高約185mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。石礫が表採される。

館石V遺跡は、標高約190mのほぼ平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

館石VI遺跡は、標高約185mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

館石VII遺跡は、標高約185mの東から西に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

館石VIII遺跡は、標高約190mの西から南に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

館石IX遺跡は、標高約185mの西から南に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

館石X遺跡は、標高約185mのほぼ平坦面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

小袖沢地区は、北流して、小袖漁港に注ぐ小袖沢の中流域に相当する。

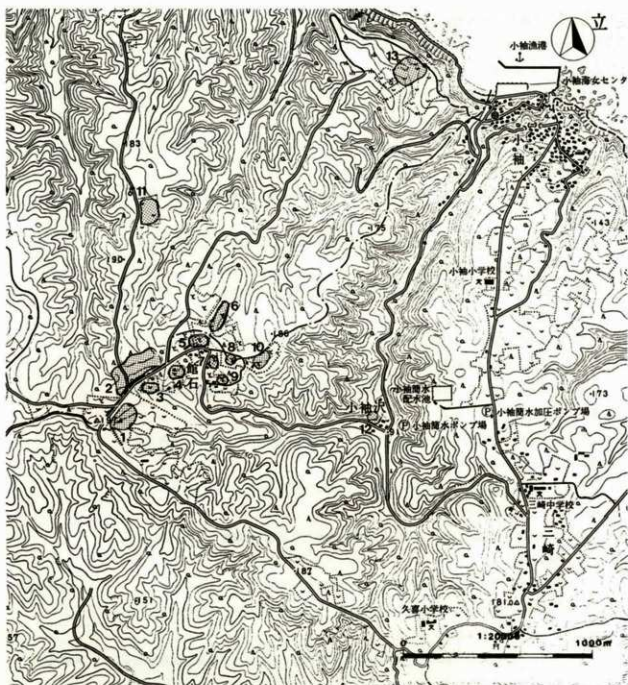
小袖沢地区

小袖沢遺跡は、標高約100mの北西から南東に下る斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

大尻遺跡は、標高約180mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。弥生土器、石器が表採される。

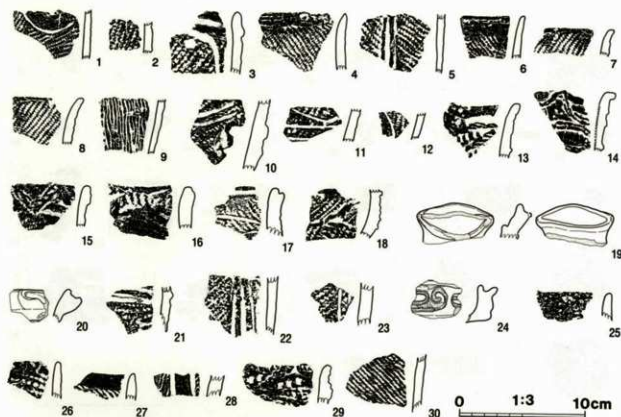
大尻地区

高畑遺跡は、標高約110~130mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。



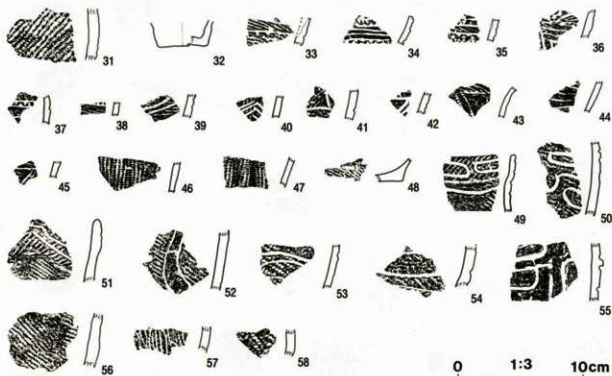
番号	遺跡名	照会コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	館石Ⅰ遺跡	JG41-0087	集落跡	縄文土器(前・後期)	宇部町第19地割	
2	館石Ⅱ遺跡	JG41-0057	集落跡	縄文土器(前・後期)	長内町第45・46地割	
3	館石Ⅲ遺跡	JG41-0067	散布地	縄文土器(後期)	宇部町第19地割	新規
4	館石Ⅳ遺跡	JG41-0049	散布地	石鏃	宇部町第19地割	新規
5	館石Ⅴ遺跡	JG41-0131	散布地	縄文土器(中・後期)、石鏃、石斧等	宇部町第19地割	新規
6	館石Ⅵ遺跡	JG41-0113	散布地	縄文土器(中・後期)、石鏃、石斧等	長内町第46地割	新規
7	館石Ⅶ遺跡	JG41-0142	散布地	縄文土器(中期)、石鏃、石鏃	宇部町第19地割	新規
8	館石Ⅷ遺跡	JG41-0143	散布地	縄文土器(中期)、石器	宇部町第19地割	新規
9	館石Ⅸ遺跡	JG41-0153	散布地	縄文土器(中・後期)、石鏃、石器	宇部町第19地割	新規
10	館石Ⅹ遺跡	JG41-0145	散布地	縄文土器(中・後期)	宇部町第19地割	新規
11	大尻遺跡	JG41-2068	散布地	弥生土器、磁石、磨石、凹石	長内町第45地割	新規
12	小袖沢遺跡	JG41-0280	散布地	縄文土器(後期)、石斧	宇部町第23地割	
13	高畑遺跡	JG41-1291	散布地	縄文土器(後期)、石鏃	長内町第46地割	新規

第25図 館石、大尻、小袖沢地区遺跡分布図



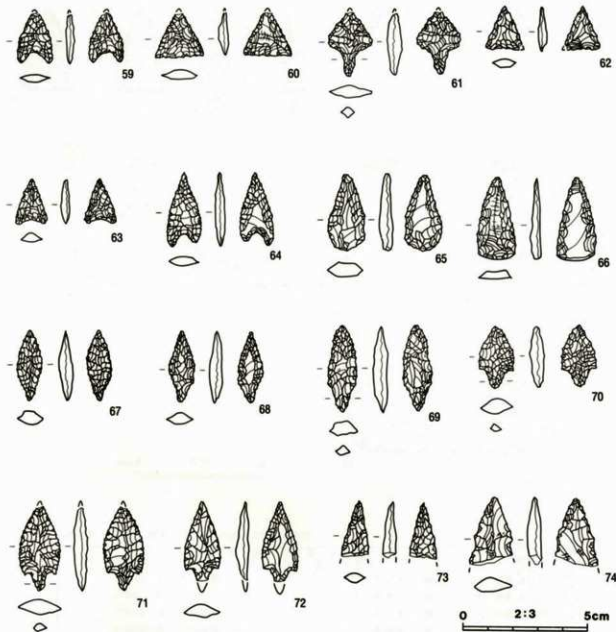
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	船石Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第13図版1
2	船石Ⅲ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第13図版2
3	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、沈線文、LRL複節		第13図版3
4	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版4
5	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、L R単節		第13図版5
6	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版6
7	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第13図版7
8	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第13図版8
9	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	熱帯文		第13図版9
10	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上押圧、沈線文、R L単節		第13図版10
11	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第13図版11
12	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第13図版12
13	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上原体圧痕、連続刻目、波状口縁		第13図版13
14	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上原体圧痕		第13図版14
15	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上原体圧痕、複合口縁		第13図版15
16	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯上原体圧痕		第13図版16
17	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第13図版17
18	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、L R単節		第13図版18
19	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、突起部		第13図版19
20	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	突起、R L単節、沈線文		第13図版20
21	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第13図版21
22	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、L R L複節		第13図版22
23	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R L複節		第13図版23
24	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	渦巻状沈線文		第13図版24
25	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第13図版25
26	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版26
27	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版27
28	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第13図版28
29	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、刺突文		第13図版29
30	船石Ⅴ遺跡	縄文土器深鉢	無節		第13図版30

第26図 館石区表採遺物



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
31	館石X遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版31
32	館石X遺跡	縄文土器深鉢	器面剝落		第13図版32
33	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版33
34	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突		第13図版34
35	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版35
36	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版36
37	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版37
38	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版38
39	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突、RL単節		第13図版39
40	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、RL単節?		第13図版40
41	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、RL単節		第13図版41
42	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文		第13図版42
43	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	RL単節		第13図版43
44	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文		第13図版44
45	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、RL単節		第13図版45
46	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	RL縞縄文		第13図版46
47	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	RL縞縄文		第13図版47
48	大尻Ⅷ遺跡	弥生土器深鉢	RL単節		第13図版48
49	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、無節		第13図版49
50	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、無節		第13図版50
51	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、刺突文、L R単節、波状口縁		第13図版51
52	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第13図版52
53	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第13図版53
54	小袖沢遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第13図版54
55	高畑遺跡	縄文土器深鉢	隆帯、沈線文		第13図版55
56	高畑遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版56
57	高畑遺跡	縄文土器深鉢	燃糸文		第13図版57
58	高畑遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版58

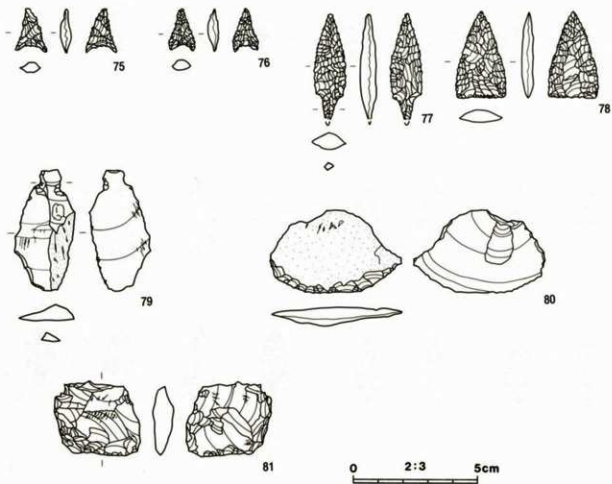
第27図 館石、大尻、小袖沢地区採掘遺物



計測値、重量の欄の( )内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	測定値(単位:cm)		重量 (単位:g)	石質	写真図版	備考	
				長さ	幅					
59	館石Ⅱ遺跡	石鏃	凹基無茎	(2.0)	1.4	0.3	(0.6)	硬質頁岩	第138図版59	
60	館石Ⅱ遺跡	石鏃	平基無茎	(1.7)	1.9	0.4	(0.9)	硬質頁岩	第138図版60	
61	館石Ⅱ遺跡	石鏃	凸基有茎	(2.0)	1.8	0.6	(1.7)	硬質頁岩	第138図版61	
62	館石Ⅴ遺跡	石鏃	平基無茎	1.7	(1.4)	0.4	(0.6)	硬質頁岩	第138図版62	
63	館石Ⅵ遺跡	石鏃	凹基無茎	1.8	1.3	0.4	0.5	硬質頁岩	第138図版63	
64	館石Ⅶ遺跡	石鏃	凹基無茎	3.0	1.4	0.4	1.2	硬質頁岩	第138図版64	
65	館石Ⅷ遺跡	石鏃	円基	3.1	1.5	0.6	2.6	硬質頁岩	第138図版65	
66	館石Ⅷ遺跡	石鏃	凸基無茎	3.3	1.5	0.4	1.9	硬質頁岩	第138図版66	
67	館石Ⅷ遺跡	石鏃	柳葉	2.8	1.0	0.6	1.0	硬質頁岩	第138図版67	
68	館石Ⅷ遺跡	石鏃	凸基有茎	2.8	1.1	0.5	1.2	硬質頁岩	第138図版68	
69	館石Ⅷ遺跡	石鏃	凸基有茎	3.5	1.2	0.6	1.7	硬質頁岩	第138図版69	
70	館石Ⅷ遺跡	石鏃	平基有茎	2.5	1.4	0.6	1.4	硬質頁岩	第138図版70	
71	館石Ⅷ遺跡	石鏃	凹基有茎	(3.4)	1.7	0.6	(2.4)	硬質頁岩	第138図版71	
72	館石Ⅷ遺跡	石鏃	凹基有茎	(3.2)	1.5	0.5	(1.6)	硬質頁岩	第138図版72	
73	館石Ⅷ遺跡	石鏃	?	(2.2)	(1.1)	(0.5)	(0.7)	硬質頁岩	第138図版73	
74	館石Ⅷ遺跡	石鏃?	?	(2.7)	(1.7)	(0.6)	(2.1)	硬質頁岩	第138図版74	

第28図 館石地区採掘遺物

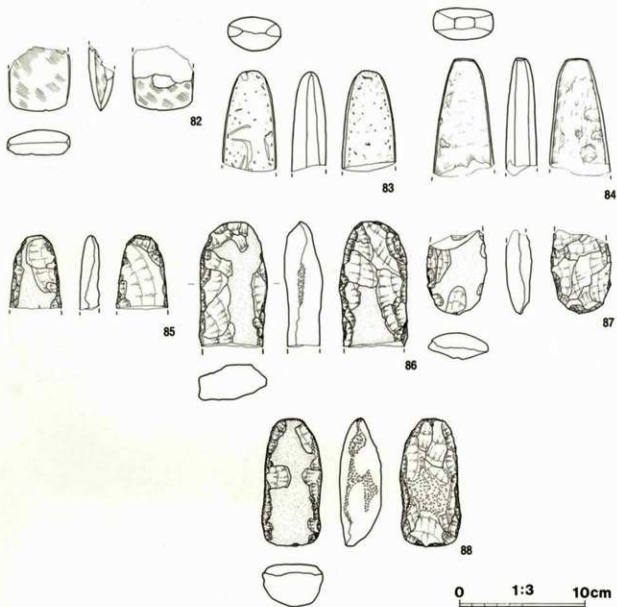


計測値、重量の欄の（ ）内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
75	館石Ⅰ遺跡	石	鏃 凹基無茎	1.7	1.3	0.5	0.4	硬質頁岩	第13図版75	
76	館石Ⅰ遺跡	石	鏃 凹基無茎	1.7	1.1	0.4	0.4	メノウ	第13図版76	
77	館石Ⅰ遺跡	石	鏃 凸基有茎 (4.2)	1.3	0.7	(3.2)	(3.2)	硬質頁岩	第13図版77	
78	高畑遺跡	石	鏃 平基無茎	3.5	2.0	0.5	2.6	硬質頁岩	第13図版78	
79	館石Ⅳ遺跡	石	匙 縦長	4.8	2.4	0.7	6.3	硬質頁岩	第13図版79	
80	館石Ⅳ遺跡	スクレイパー		3.3	5.3	0.8	10.6	硬質頁岩	第13図版80	
81	館石Ⅰ遺跡	ピエスエスキュー		3.0	3.4	0.9	9.1	硬質頁岩	第13図版81	

第29図 館石、大尻地区表採遺物

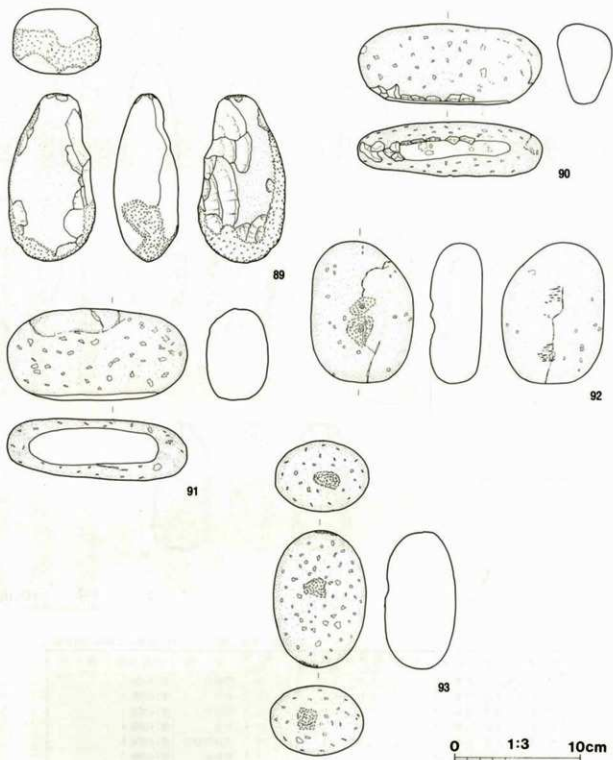




計測値、重量の欄の（ ）内の数値は欠損品の現存値

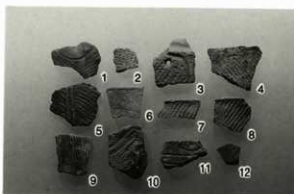
番号	遺跡名	器種	形態	測量値(単位cm)	長さ	幅	厚さ	重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
82	館石V遺跡	磨製石斧		(5.2)	(4.9)	(2.0)	(58.7)	閃綠岩	第14図版 1		
83	館石V遺跡	磨製石斧		(8.1)	(4.3)	(2.8)	(152.0)	砂岩	第14図版 2		
84	館石M遺跡	磨製石斧		(9.5)	(4.8)	(2.5)	(181.9)	閃綠岩	第14図版 3		
85	館石V遺跡	打製石斧		(5.9)	(4.1)	(1.5)	(45.8)	砂岩	第14図版 4		
86	館石M遺跡	打製石斧		(10.0)	(5.4)	(3.0)	(275.7)	花崗閃綠岩	第14図版 5		
87	小袖沢遺跡	打製石斧		(6.7)	(4.8)	(2.1)	(77.0)	粘板岩	第14図版 7		
88	小袖沢遺跡	打製石斧		10.2	4.8	3.3	245.6	砂岩	第14図版 6		

第30図 館石、小袖沢地区表採遺物

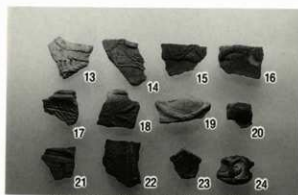


番号	遺跡名	器種	形態	測量値(單位cm)			重量 (單位g)	石質	写真圖版	備考
				長さ	幅	厚さ				
89	大尻埴遺跡	敲石		13.4	6.9	5.2	740.0	花崗閃綠岩	第148圖版8	
90	船石V遺跡	磨石	断面三角形	6.4	14.6	4.4	598.5	花崗閃綠岩	第148圖版9	
91	大尻埴遺跡	磨石		7.3	14.3	4.9	866.4	花崗岩	第148圖版10	
92	大尻埴遺跡	凹石		11.3	8.2	4.1	628.0	花崗岩	第148圖版11	
93	船石V遺跡	凹石		11.0	7.4	5.6	706.1	花崗岩	第148圖版12	上下敲打痕

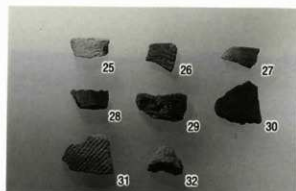
第31圖 船石、大尻地区表採遺物



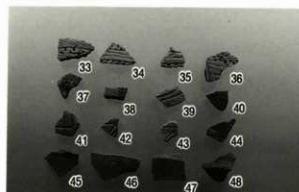
館石Ⅲ(1、2)、館石Ⅴ(3~5)、館石Ⅳ(6~12)遺跡



館石Ⅵ(13~20)、館石Ⅶ(21~24)遺跡



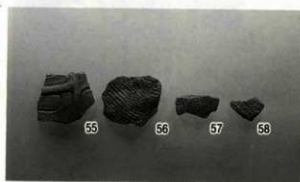
館石Ⅰ(25~28)、館石Ⅹ(29~32)遺跡



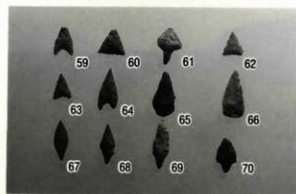
大灰Ⅷ(33~48)遺跡



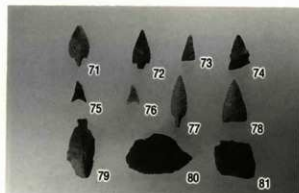
小袖沢(49~54)遺跡



長内(55~58)遺跡



館石Ⅳ(59~61)、館石Ⅴ(62)、館石Ⅳ(63)、  
館石Ⅵ(64~70)遺跡

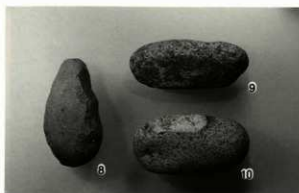


館石Ⅵ(71~74, 79)、館石Ⅰ(75~77)、長内(78)、  
館石Ⅵ(80)、館石Ⅰ(81)遺跡

第13図版 館石、大灰、小袖沢地区表採遺物



館石V(1,2)、館石Ⅲ(3,5)、館石V(4)、  
小袖沢(6,7)遺跡



大尻Ⅷ(8,10)、館石V(9)



館石V(12)、大尻Ⅷ(11)



館石Ⅰ遺跡(西より)



館石Ⅱ遺跡(南西より)



館石Ⅲ(北より)



館石Ⅳ遺跡(南西より)



館石V遺跡(南より)

第14回版 館石、大尻、小袖沢地区表採遺物、遺跡



館石M遺跡(北より)



館石Ⅷ遺跡(北より)



館石Ⅷ遺跡(北東より)



館石Ⅸ遺跡(南西より)



館石Ⅹ遺跡(南西より)



大灰Ⅷ遺跡(南より)



小袖穴遺跡(西より)



長内遺跡(西より)

## 9 ま と め

宇部町地区には、遺跡の分布数が多く、今年度の調査により新たに発見された遺跡を含めて57箇所の遺跡が所在する。宇部川東側は、遺物の散布密度が濃いため以前から遺跡の存在が知られている箇所が多かったが、宇部川西側は、これまで分布調査などが実施されていなかったため、遺跡の存在が知られていなかった。今回の宇部町全域にわたる分布遺跡により存在が明らかになった箇所も多い。

宇部町地区は遺跡の数のみではなく、その内容も優れており、縄文時代の大規模な集落跡が存在するものと予想される三崎、小袖、館石地区の各遺跡群、古代の集落跡である山屋敷遺跡、上新山遺跡など貴重な遺跡が多く、今後が注目される地区といえる。

### 引用・参考文献

- 岩手県教育委員会『岩手県中世城館跡分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集 1986年  
『日本城郭大系』第2巻 新人物往来社 1980年  
久慈市史編纂委員会『久慈市史』第1巻 1984年  
岩手県『岩手県史』第3巻 中世篇下 1961年  
宇部政雄、中野勝志『大南部野田領誌』復刻版 1978年  
久慈市教育委員会『山屋敷遺跡発掘調査報告書』久慈市文化財調査報告書第1集 1976年  
久慈市教育委員会『三崎(Ⅲ)遺跡発掘調査報告書』久慈市文化財調査報告書第2集 1978年  
久慈市教育委員会『上新山遺跡発掘調査報告書』久慈市文化財調査報告書第3集 1979年  
久慈市教育委員会『小袖Ⅱ遺跡発掘調査報告書』久慈市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集 1987年  
齋藤邦雄『古館山』野田村教育委員会 1987年  
高橋信雄、赤沼英男「蕨手刀からみた東北部の古代製鉄技術」季刊考古学第8号 雄山閣 1984年  
高橋信雄、赤沼英男「岩手の古代製鉄に関する検討(1)」岩手県立博物館研究報告第1号 岩手県立博物館 1983年  
照井一明「陸中海岸北部地域の海岸段丘と古流系」岩手県高等学校教育研究会地理部会 1982年  
岩手県教育委員会『久慈・野田街道』岩手県文化財調査報告書第77集 1982年  
岩手県教育委員会『浜街道』岩手県文化財調査報告書第76集 1982年

---

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第15集

**久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅳ**

平成5年3月発行

発行 久慈市教育委員会

〒032 岩手県久慈市川崎町1-1

TEL (0194) 52-2111

印刷 有限会社 九戸印刷

〒032 岩手県久慈市長内町24-10-13

TEL (0194) 52-1113

---

